

平成26年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

充実した教育環境のもとで、のびのびと明るく元気に過ごし生活体験や活動を通して積極的にものごとに取り組む意欲と態度を身につけ、豊かな心を育み、一人ひとりの人格形成と生きる力の基礎を培う。

- 1 建学の精神「報恩感謝」、教育理念「人をつくる」、教育方針「個性の尊重」「明朗と自主」「実行から学べ」「礼儀と品性」をふまえ、豊かな人格形成の基礎を育む。
- 2 安心・安全な環境のもとで集団生活を送り、基本的な習慣を身につけるとともに、子どもが主体的に活動しようとする積極的な態度を養う。
- 3 遊びや活動を通して、自然や社会に対する関心を広げ、人とのふれあいや協力をとおして、心身の調和した発達の基礎を培う。
- 4 子ども一人ひとりをよく見守り、子どもの健全な成長を促すことができるよう、その個性・特性に応じた指導を行う。
- 5 保護者や地域と連携・協力し、より多様な教育環境を創り出すことによって、子どもの生活体験を豊かにし、いきいきとのびやかな成長を促す。

2 中期的目標

【1】心身の健全な成長を促し、豊かな人格形成の基礎を培う。

- (1) 健康で活発な子どもを育てる。
- (2) 自ら考え行動する子どもを育てる。
- (3) 思いやりと優しさのある子どもを育てる。

【2】基本的な習慣やマナー、ルールを守る態度を身につける。

- (1) 基本的な生活習慣とマナーを身につける。
- (2) ルールを守るなど集団生活に必要な態度と行動を身につける。

【3】安心・安全な教育環境を整備し、子どもの活発な活動を促す。

- (1) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保するとともに、危険を回避する力を身につける。
- (2) 子どもが安心して楽しく生活し、興味・関心を広げることができる環境を整備する。
- (3) 子どもが自然や社会に触れて感じたり理解したりすることができる環境を整備する。

【4】教育課程を通して積極的に取り組む態度や友達と助け合い協力する態度を身につける。

- (1) 運動することを楽しみ、技能を高め新たなことに挑戦しようとする態度を養う。
- (2) 読む・書く・数えることに興味をもち、考える力・表現する力を身につける。
- (3) 仲間とともに行事・活動に取り組み、努力することや協力することの大切さを学ぶ。

【5】一人ひとりの子どもの個性・特性に応じた指導を行う。

- (1) 子どもの興味や関心、個性の違いをふまえて一人ひとりに応じた指導を行う。
- (2) 子どもの成長や発達、特性の違いをふまえて一人ひとりに応じた支援を行う。

【6】保護者・地域と連携した教育活動を実施する。

- (1) 保護者の要望をふまえ、保護者と連携してともに子どもを育てる。
- (2) 地域の理解や協力を得ながら、地域と連携して豊かな教育活動を実施する。

【7】教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実をはかる。

- (1) 園内研修を充実させ教職員の資質の向上をはかる。
- (2) 教職員の協力・連携を強化し教育力の向上と教育内容の充実をはかる。

【自己評価アンケートの結果と分析・学校協議会からの意見】

自己評価アンケートの結果と分析 [平成26年11月実施分]	学校協議会からの意見
<p>評価項目：教育（保育）活動及び幼稚園に対する全体的評価を行った 評価方法：各項目について、5段階で評価を行った</p> <p>【心身の健全な成長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は心身共に目標通り成長できていると思う（4.1） ・温もりのある保育を実践しながら思いやりの気持ちを育てていると思う（4.4） <p>【基本的な習慣とマナー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達は全体的にマナーを身に付けてきていると思う（3.9） ・学年の全体的な生活習慣は身に付いてきていると思う（4.2） ・整理整頓についての指導ができていると思う（3.9） ・食事に関して正しい習慣が身に付いてきていると思う（3.8） ・きまりを知り守ろうとする気持ちや物事の善悪を理解する心が育っていると思う（4.3） <p>【安全・安心な教育環境と子どもの活発な活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達への安全確保に注意が払われていると思う（4.4） ・正門のチェックは十分なされていると思う（4.5） ・子ども達への保健衛生全般に対する体制は整っていると思う（4.2） <p>【積極性や協力する態度を養う教育課程】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容は充実していると思う（4.4） ・子ども達は心身共に目標通り成長していると思う。（4.1） ・行事について子ども達は満足していると思う（4.8） <p>【子どもの個性・特性に応じた指導】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達との信頼関係はよいと思う（4.4） ・課外教室は満足できると思う（4.6） ・個々の成長、発達、特性の違いを踏まえ指導支援ができていると思う（4.1） <p>【保護者・地域と連携した教育活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者との信頼関係ができていると思う（4.1） ・保護者から相談を受けることが多いと思う（3.9） ・信頼関係が築けるよう子どもの成長の状況を伝える努力をしていると思う（4.4） ・預かりの保育内容について現状でよいと思う（4.7） <p>【教職員の研修を推進し幼稚園運営体制の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ねらいや目標に向かって日々研究し努力していると思う（4.3） ・自分の目標は現時点で達成に近づいている（3.9） ・子どもにあった環境を見つめ意欲が高まるよう取組んでいる（4.3） <p>[分析]</p> <p>○教職員は本園の教育目的を理解し、本年度の教育目標・重点目標をふまえて熱心に丁寧に指導している。目標は教育計画・カリキュラムに沿って実施され概ね達成されている。</p> <p>○教職員は日頃から学年を越えた熱心な話し合いや園内研修会、外部研修会の成果をふまえ、より良い教育をめざして指導計画を立案し実践することができた。</p> <p>○教職員が子ども達の健やかな成長を願い熱心に取り組んでいることに、保護者はほぼ満足していると思われる。子ども達の個性や特性を踏まえた保育全般の丁寧な教育に対して評価は4.0以上になった。</p> <p>○子ども達は様々な活動・体験を通して楽しく園生活を送り、基本的な生活習慣やマナーを身につけ、仲間と協力しながら、主体的に活動する力を養っている。また、友だちに対する思いやりや助け合うことの大切さも学んでいる。</p> <p>○集団生活のきまりを理解して、友だちと一緒に生活する中で、人間関係が良好になるように指導を行ってきたが、保護者からの支持もあり評価に繋がった。お手伝いを通して責任感を持ち達成感を味わい感謝の気持ちも芽生えた。</p> <p>○体力向上と運動技能を高めることを目的に日々の体操・かけっこ・戸外遊びを大切にしているが、26年度は新園舎建設工事中の為に十分な園庭が確保できないことから、例年に比べると活動が少なくなっている。新園舎が完成すればこの点について次年度は解消できる。</p> <p>○保護者は門の出入り口のセキュリティが十分ではないと不安をもっている所以对策を講じる必要がある。</p> <p>○特別支援教育について教職員同士や保護者との連携を密にしてさらに理解を図っていく必要がある。担任と保育補助者の密な連絡と保護者との連携によってより良い保育を実施し、クラス運営も円滑に進めることができた。</p> <p>○教職員は学年を越えて日々の話し合いや研修会の報告などを共有し、保育に対する知識・技能を一層高めるとともに、教職員相互の協力・連携のもとに、更により良い保育を実践していく努力を重ねていきたい。</p> <p>○園内研修を充実させることにより教職員は自らの指導を振り返り、更に指導の改善や資質の向上を図る必要がある。</p> <p>○教職員相互の協力・連携を深め、全員で一層教育力の向上と教育内容の充実を図る必要がある。</p>	<p>○学校協議会は、全体として幼稚園の教育内容に対して良好だと評価している。</p> <p>○保護者の相談に対して教職員は概ね丁寧に親切に対応している。担任以外の教職員も適切に対応している。</p> <p>○保護者は教職員に対して概ね信頼を寄せている。信頼を更に強化するためには教育目標や実践、その成果を保護者に伝えることが大切だ。</p> <p>○子ども達一人ひとりの個性を尊重し保護者との連絡を密にしながら、子どもの発達をふまえた保育を実施していることは評価される。</p> <p>○新園舎建設にともなう仮園舎での保育や園庭が狭くなったことから戸外での活動が少なくなるなどの影響が心配されたが、次年度はより良い環境の下での保育を期待する。</p> <p>○子ども達の基本的な生活習慣やマナーは園生活を通して身に付いてきている。更に定着をお願いする。</p> <p>○集団生活のルールについて、保護者にも理解と協力を求める必要がある。行事や集会時のマナーの啓発を望みたい。</p> <p>○保育内容については十分評価できる。仮園舎等の環境の中でも相違工夫して良い活動を行っている。教職員もよく連携し協力している。</p> <p>○行事について園庭の使用制限もあり例年通りに実施できないものもあったがやむを得ないと思う。次年度は解消されるだろう。</p> <p>○安全について門の出入り口のセキュリティが十分ではないので、安心できる対策を取っていただきたい。保護者の協力を得る事も必要である。保護者証の携帯などの徹底が必要。</p> <p>○課外教室と早朝預かり・預かり保育については満足している。課外教室の子どもによる抽選制も良かった。</p>

3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的 目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 心身の健全な成長・豊かな人間形成の基礎	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>(2) 自ら考えて行動する子ども</p> <p>(3) 思いやりと優しさのある子ども</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>ア、健康な体をつくるために、かけっこ・体操・自由遊びを通してしっかりと運動能力を養うように取り組む。</p> <p>イ、友だちの姿から刺激を受けて、自分で考えて自分でやろうとする気持ちを培う。</p> <p>(2) 考えて行動する</p> <p>ア、基本的な習慣を時間の流れに応じて考えて行動する。</p> <p>イ、場面に応じて次は何をするかを考えて行動する。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる</p> <p>ア、困っている友だちがいれば一緒に考えたり行動したりできる。</p> <p>イ、みんなで活動する時に場面に応じてお手伝いをする。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>ア、①かけっこで体力が向上する。 ②柔軟体操の4つの基本ができる。</p> <p>イ、①学年目標が達成できる。 ②積極的に取り組むようになる。</p> <p>(2) 考えて行動する</p> <p>ア、挨拶、衣服の着脱、うがいと手洗いなどが自分で考えて出来る。</p> <p>イ、次は何をするか自分で考えて行動できる。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる</p> <p>ア、体操や学習で困っている子に教えることができる。</p> <p>イ、生活や活動を通して、気がついて進んでお手伝いできる。</p>	<p>(1) 健康で活発な子ども</p> <p>ア、ほとんどの子どもが身体を動かすこと、運動することが好きになり積極的にかけっこしている。走力も持久力も向上している。柔軟体操もほぼ全員が基本動作をできるようになった。</p> <p>イ、ほぼ全員が学年目標の動作ができる。友だちができると自分もできるようになろうと努力している。</p> <p>(2) 考えて行動する</p> <p>ア、年少の園児も次第に生活リズムに慣れて基本的な習慣・動作ができるようになった。</p> <p>イ、活動内容が変わる場合は次の動作を考えて動くことはまだ指示がないと難しいことがある。</p> <p>(3) 思いやりと優しさを育てる</p> <p>ア、自然に優しく教える場面が見られるようになった。</p> <p>イ、自分の事だけでなく周りを見て手伝う姿が見られるようになった。</p>
2 基本的な習慣とマナー	<p>(1) 基本的な生活習慣と態度を身につける</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度と行動を身につける。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣の確立</p> <p>ア、挨拶をする。靴を揃える。</p> <p>イ、手洗い・うがい・歯磨きの習慣を身につける。</p> <p>ウ、上手に箸を使う、食器を洗う。</p> <p>エ、食後・制作後の後片づけをする。</p> <p>(2) 集団生活に必要な態度を養う。</p> <p>ア、整理整頓ができる。</p> <p>イ、すすんでお手伝いをする。</p> <p>ウ、公共の場での望ましいマナーを身につける。</p> <p>エ、ありがとうやごめんなさいの気持ちを持つ。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (4.0)</p> <p>ア、挨拶をする。靴を揃える。</p> <p>イ、手洗い・うがい・歯磨きが習慣的にできる。</p> <p>ウ、正しく箸を持って食事する。</p> <p>エ、片づけや掃除ができる。</p> <p>(2) 集団生活に必要な行動ができる。(4.0)</p> <p>ア、整理整頓ができる。(4.0)</p> <p>イ、積極的に手伝いをする。</p> <p>ウ、登降園時、車内では私語を慎む。</p> <p>エ、素直な気持ちでありがとうやごめんなさいが言える。</p>	<p>(1) 基本的な生活習慣 (3.8と未達成)</p> <p>ア、子どもが自らすすんで挨拶をする姿勢は3.8である。日頃から教職員もすすんで元気よく挨拶したい。</p> <p>イ、手洗い等はほぼ全員できるようになった。</p> <p>ウ、食育の生活習慣の定着は家庭と協力して進めたい。</p> <p>エ、片付け等は少しずつ自主的にできるようになった。</p> <p>(2) 集団生活に必要な行動 (3.9とほぼ達成)</p> <p>ア、整理整頓はほぼできるようになった。(3.9)</p> <p>イ、感謝されると更に進んでお手伝いをしようとする。によって、感謝する気持ちも芽生えてきた。</p> <p>ウ、電車内等でお行儀よくすることができた。</p> <p>エ、ありがとうはよく言えるが、ごめんなさいはまだ言えない事がある。</p>
3 安心・安全な教育環境の整備と子どもの主体的な活動	<p>(1) 楽しく生活し、興味・関心を広げる環境を整備する。</p> <p>(2) 自然や社会に触れることができる環境を整備する。</p> <p>(3) 安全・防災教育を推進し子どもの安全を確保する。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備の充実</p> <p>ア、保育室の図書設備の充実を図る。</p> <p>イ、季節に応じた制作をする。</p> <p>ウ、体操に係る整備、備品の充実を図る。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備の充実</p> <p>ア、生き物を飼育する。</p> <p>イ、植物を栽培する。</p> <p>ウ、園外保育に出かけ、いろいろな人とふれ合う。</p> <p>(3) 安全・防災教育を実施</p> <p>ア、交通安全教室・防犯教室を実施する。</p> <p>イ、防災訓練を実施する。</p> <p>ウ、JR出張授業を実施する。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備 (4.0)</p> <p>ア、絵本を豊富に揃える。</p> <p>イ、季節感のある制作をする。</p> <p>ウ、安全に積極的に運動ができる。</p> <p>(2) 自然・社会環境の整備 (4.0)</p> <p>ア、生き物の飼育を通して命を大切に</p> <p>イ、自然物に関心を持つ。</p> <p>ウ、園外保育に参加する。</p> <p>(3) 安全・防災教育 (4.0)</p> <p>ア、交通ルールを知り守る。</p> <p>イ、避難の仕方を知り行動できる。</p> <p>ウ、電車のマナーについて知る。</p>	<p>(1) 保育室環境の整備 (4.2と達成)</p> <p>ア、十分な絵本を揃えることによって子どもたちが進んで好きな本を選び読書を楽しむようになった。</p> <p>イ、自然や生き物を制作し展示することで季節感を味わうことができた。</p> <p>ウ、備品を整備することによって意欲的にかつ安全に運動できるようになった。</p> <p>(2) 自然・社会環境 (4.3と達成)</p> <p>ア、ザリガニやカブトムシを飼ってお世話した。</p> <p>イ、アサガオを育て園庭の植物を観察した。</p> <p>ウ、芋ほりを実施し農家の方にお世話になった。</p> <p>(3) 安全・防災教育 (4.4と達成も一部要改善)</p> <p>ア、警察署の方から交通安全・防犯指導を受けた。</p> <p>イ、火災・地震避難訓練を実施した。</p> <p>ウ、JRの方から乗車マナーと安全指導を受けた。</p> <p>その他、校門での安全対策、入園点検が十分ではないことから、保護者証の点検強化が求められる。</p>

<p>4 自主性や協力的態度、規範意識のめばえ</p>	<p>(1) 身体を動かし、積極的に運動する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する。</p> <p>(3) 行事・活動に取り組み、仲間と協力すること、また集団活動のルールを理解する。</p>	<p>(1) 積極的に運動 ア、かけっこを毎日取り入れる。 イ、柔軟体操の4つの基本ができる。 ウ、体操のいろんな種目に挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する ア、ひらがな、カタカナを覚え書く。 イ、絵本を読み話の内容を理解する。 ウ、数字を覚えて簡単な計算ができるようにする。 エ、歌やピアノを通して音階や楽譜を理解する。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること ア、すすんで行事に参加する。 イ、子ども同士の交流の場を設け異年齢の交流を図る。 ウ、学年目標を設定し、成長段階に応じた目標が達成をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動 ア、かけっこの競争する楽しさも知る。 イ、基本の柔軟体操が全員出来る。 ウ、ブリッジ、ブリッジ歩き、立ちブリッジ回転等、学年目標に挑戦する。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する ア、50音表を使って字を覚える。 イ、絵本のお話や感想が言える。 ウ、足し算引き算が出来る。 エ、みんなと一緒にピアノの合奏が出来る。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守る ア、喜んで行事に参加する。 イ、いきいきランチやクラス交流会を実施する。 ウ、学年目標の達成度(4.1)をめざす。</p>	<p>(1) 積極的に運動 ア、早く走れることを喜び更に意欲的に頑張っている。 イ、基本的な柔軟体操が各学年確実にできている。 ウ、年少はブリッジ、年中は壁逆立ち、年長は三転倒立がほぼできている。</p> <p>(2) 読む・書く・数える・考える・表現する ア、学年に応じて書くことができている。 イ、絵本のあらすじや感想を楽しそうに話してくれる。 ウ、遊びを通して文字や数字を理解し、トレーニング帳を使って学んでいる。年長では足し算引き算のほか、数名が九九もできている。 エ、ピアノを通して音階に関心が高まり、簡単な演奏ができるようになった。</p> <p>(3) 協力すること、ルールを守ること ア、学期毎に季節に合わせた行事・活動を実施している。夏まつり・運動会・発表会など、子どもたちは積極的に参加し活動することができた。また、行事を通して協力すること、仲間を大切にすること、ルールを守ることを学ぶことができた。 イ、異年齢間の交流は子ども同士の触れ合いと助け合いの観点から意義ある機会となった。 ウ、学年目標はほぼ達成できている。(4.1)個別にはもう少し努力が必要と評価しているところもある。(3.9)</p>
<p>5 子どもの個性・特性に応じた指導</p>	<p>(1) 子どもの興味・理解・個性の違いに応じた指導</p> <p>(2) 子どもの成長・発達・特性の違いに応じた支援</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導 ア、子どもの興味・関心、理解・成長の度合いに応じた指導を行う。 イ、子どもの心の状態を把握して適切な指導を行うことができるよう研修を行う。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援 ア、保護者とも連携を図り、その子の発達・特性に応じた支援を行う。 イ、周囲の子ども達にも理解できる範囲で協力を促し、相互のかかわりが良好になるよう配慮する。 ウ、保護者の理解と協力も得られるよう保護者に対する啓発活動にも取り組んでいく。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.0) ア、活動の場面ごとに個々の子どもの成長に見合った指導を行う。 イ、終礼・園内研修会・ステップアップ会議等の話し合いを通して研修を行う。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.0) ア、保護者と連絡を密にし、その子の発達に応じた支援をする。 イ、相互のかかわりが良好になるよう配慮する。 ウ、保護者に対する啓発活動を行う。</p>	<p>(1) 子どもの個性に応じた指導(4.1と達成) ア、子どもの個々の感情をしっかり受け止めた対応・指導を行なった。子ども同士のトラブルがあった時は、互いの気持ちが整理できるよう仲裁し、子ども自ら解決できるようながした。 イ、研修は有意義に実施され、情報・意見交換を通して子どもの心の状態を把握して指導することができた。</p> <p>(2) 子どもの成長・発達に応じた支援(4.1と達成) ア、保護者と連絡・連携を取り、その子の発達に応じた支援を実施することができた。 イ、課題をもつ子どもに対して周りの子ども達が可能な範囲で協力し、互いに援助し援助される中で良好な関係をつくることができた。 ウ、課題を持つ子どもとともに周りの子ども達も成長していくことを保護者も理解され協力も得られるようになった。</p>
<p>6 保護者・地域と連携した教育活動</p>	<p>(1) 保護者と連携し子どもを育てる</p> <p>(2) 地域と連携して教育活動を行う</p>	<p>(1) 保護者との連携 ア、PTA活動を活発にし、運動会・発表会などで保護者と連携し協力をお願いする。 イ、父親祖父の保育参観を実施し、積極的な参加を促す。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園庭を開放し、夏まつりや運動会などの行事にも地域の人を招待する。 イ、府内中学校の職業体験の受入れに協力する。 ウ、エコキャップ運動の推進を図り継続していく。</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.0) ア、役員会を通してPTA活動を活発にし、協力をお願いをする。 イ、父親祖父の保育参観の参加は主旨の理解を得る。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園行事の開催など、ポスターの掲示や手紙で知らせ招待する。 イ、職業体験の受入れをする。 ウ、エコキャップ運動を行う。</p>	<p>(1) 保護者との連携(4.1と達成) ア、PTA活動は役員会やおやじの会など保護者の活動が活発になり園に対して理解と協力的姿勢が高まった。 イ、父親だけでなく祖父の参観を実施することによって本園の教育方針・教育内容について理解が深まり、子どもとのかかわりが多くなったように思われる。</p> <p>(2) 地域との連携 ア、園庭開放の日の参加が増加した。行事を見学される地域の方も少しずつ増えてきた。 イ、地域の中学生を受入れ楽しく過ごすことができた。 ウ、エコキャップ運動を通して子ども達は資源を有効に活用し、環境を守ることが大切だということを知るとともに、それを機会に地域の人とも接することができた。</p>
<p>7 研修の充実・運営体制の充実</p>	<p>(1) 研修を充実させ資質の向上をはかる。</p> <p>(2) 教職員の協力・連携を強化し教育力と教育内容の充実をはかる。</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、園内研修実施して資質の向上を図る イ、各自の目標を設定し努力する</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、目標を共有して連携する イ、教育内容を充実させる</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、努力の成果を4.0以上に イ、目標達成度を4.0以上に</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、連携の充実度を4.0以上に イ、教育内容の充実度を4.0以上に</p>	<p>(1) 研修の充実、資質の向上 ア、努力の成果は4.3と目標を達成できた。 イ、目標達成度は3.9とさらに努力が必要である。</p> <p>(2) 連携の強化、教育内容の充実 ア、連携の成果が4.3と目標を達成できた。 イ、内容の充実度は4.4と目標を達成できた。</p>